

円安による物価高騰は政治の責任！

物価対策を要請

ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東7条9丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356



会派の会長として、原油価格・物価高騰などの対策で、知事に緊急要請（5月30日）

物価高が家計直撃

今年5月の消費者物価指数は、対前年比で2.5%上昇し、私たちの暮らしは極めて厳しい環境に置かれています。

物価上昇の主な要因は、原油の高騰といわれていますが、これに加え、円安の影響が輸入資材などを押し上げ、高騰しているのです。

さらに拍車をかけているのが、ロシアによるウクライナ侵略です。今後、麦などの穀物を中心に、さらなる値上げが見込まれます。

アベノミクスの失敗

特に、円安の影響は、政治の責任です。安倍前首相によるアベノミクスは、大胆な金融政策を柱とし、これは日銀が民間銀行等から国債を「爆買い」して、通貨を大量に供給し、「ゼロ金利」政策をとったのです。

一方、アメリカなどは一定の景気回復により金利を引き上げた結果、円を売ドル

ドルに対する円安の推移



をかうという円の大暴落がおこり、輸入するさまざまな資材が高騰し、私たちの生活を圧迫しているのです。

上がらない賃金・年金

一方、労働者の賃金は、この20年間ほとんど上がっていません。しかし、大企業を優遇する税制の見直しなどにより、企業の内部留保はこの10年間で約2倍となる484兆円に膨れ上がっており、この内部留保を吐き出す政策が求められています。

さらに、年金については、今年の4月分から0.4%引き下げられており、物価高騰の中で、厳しい生活を余儀なくされています。

北海道農家は五重の苦しみ！

北海道農業は今、極めて厳しい環境に置かれています。

- ① 水田活用直接支払交付金の突然の見直し
- ② 燃油や生産資材、肥料、飼料の急激な高騰
- ③ コメなど生産物の価格の低迷
- ④ 甜菜（ビート）の作付け制限
- ⑤ 生乳の廃棄の危機、などです。

このような時こそ、行政や団体、農民など、すべての関係者が結束して、この対応にあたらなければなりません。道議会においても、農家の皆さんを支援できるようしっかり声を出していきます。

第2回定例道議会報告(6月14日~7月1日)

第2回定例道議会は、6月14日(火)に開会。開会日冒頭には、総額357億円の令和4年度一般会計補正予算案のうち、原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者や生活困窮者等に対する支援事業に重点を絞って、181億円を先議し可決し

ました。そして最終日の7月1日には、残りの176億円の補正額も可決し、令和4年度の一般会計総額は、3兆2622億円になりました。

続くコロナの影響

新型コロナウイルス感染症流行の長期化による影響が依然として続いている中、ロシアのウクライナ侵攻の長期化に伴う原油や食料などの物価高騰が国民生活を脅かしています。

円安が物価高に拍車

急激な円安が物価高に拍車をかけ、困窮世帯への給付などの一時的な支援では、国民の生命と財産を守るには全く足りていない状況であることは明白です。

また、物価高の影響は、本道の基幹産業である第1次産業をはじめ様々な分野にすでに深刻な影響を及ぼし

←細川幌加内町長と共に「絵本の里けんぶちぐるっとライド2022」に参加



必要な人に届く支援

コロナから回復基調にあつた事業者や道民の日常が再び苦境に立たされないよう、「必要な支援が必要な人に漏れなく速やかに行き届くよう、国に対して更なる財政支援を強く要求すべきと

求めましたが、知事は、予算特別委員会総括質疑における我が会派からの追加支援に関する質問について、当面

対策の幅広い周知に取り組みとともに、経済状況に応じた必要な対応を検討する」と消極的な答弁に終始しているのです。

更なる支援策求めて

今回の対策の効果を見極めた上で、今回の支援が道民や事業者に届くまで相当の時間を要することから、切れない支援を講じるためには、財源の確保は急務であり、知事は、一刻も早い追加の財政支援を国へ要請するよう強く求めています。

採択された決議・意見書

●救難所員の身分保障制度の確立と救助活動に対する支援に関する意見書 ●地方財政の充実・強化を求める意見書 ●令和4年度北海道最低賃金の改正及び中小企業支援等に関する意見書 ●環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化のさらなる推進を求める意見書 ●森林・林業・木材

産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書 ●国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書 ●義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書 ●私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書

(カウシユ)

▼肥料や飼料、燃油、生産資材などが高騰が激しい。特に肥料は、今年の6月分から前年比で78.6%値上げするとホクレンが発表した(図1)。さらに家畜の餌となる配合飼料は、ここ近年で急騰している(図2)▼国は、緊急支援ということで、100億円(うち北海道は20億円)を決めたが、これでは焼け石に水である。もっと抜本的に、恒久的な支援策出なければならぬ▼昨年暮れ、水田活用直接支払交付金の見直し発表され、肥料高騰と合わせて、「離農が進む」と心配しているのは、私だけではないだろう。(ゆうこう)

